

鹿児島盲学校

# 視覚支援センター便り

鹿児島市西谷山一丁目3番3号 TEL 099-263-6660

URL <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/kagoshima-b/>

鹿児島盲学校教育支援部

令和6年3月発行

鹿児島盲学校では、乳幼児から成人までの視覚支援に関する相談等に幅広く応じています。本校における乳幼児教育相談や校外教育相談、啓発活動の様子について紹介いたします。お知り合いの方で、視覚に関して気になることがある方がいらっしゃいましたら、御遠慮なく、本校へお問い合わせください。

## 乳幼児教育相談 ～0歳から小学校入学まで～

乳幼児教育相談では、0歳から就学前の見えづらさを抱えている子どもたちを対象に、月に1回の集団保育と、月に1～2回の個別相談を行っています。具体的には、遊びを通して見る力や触察力を高めたり、障害や発達についての理解とその支援の在り方などを保護者と共に考えたりしています。また、視覚障害に関する情報を提供したり、「子育て講座」や保護者同士が交流できる場などを設定したりしています。

視覚障害に視点を当てた教育支援が継続的に実施できるよう、必要に応じて、幼稚園や保育所、療育機関への巡回相談や電話相談等も行っています。



【集団保育】



【個別相談】



集団保育では、感触遊び、歌遊び、光遊びの他、季節に応じてミニ運動会や水遊びなどを計画して行っています。友達と一緒に笑顔いっぱい活動し、「楽しい」や「好き」を増やすことができます。また、保護者の方にとっては、おしゃべりや情報交換をする場ともなっています。

個別相談では、見る、体全身を動かす、手を細かく動かすといった活動を中心に取り組んでいます。楽しく遊びながら、「もっと触りたい」「もっと見たい」という気持ちを育みます。保護者のお話をじっくり聞いたり、子どもの成長を共に喜んだりできる時間です。

## 幼児学級 ～3歳から小学校入学まで～

9:00～11:45 (水・木・金)

集団保育にも参加します。



日常生活の練習

朝の準備や靴の履き替え、挨拶、トイレ、着替えなど、支援を受けながら、自分でできることを少しずつ増やせるように練習します。



触察や観察

野菜や果物、生き物など、実物を使い、触ったり、匂いをかいだり、よく見たりしながら、感じたことを言葉で表現します。物事への認知を高めます。

触れ合い遊びや合同での活動を通して、人と関わる楽しさを味わいます。言葉や動作によるやりとりの中で、コミュニケーションの発達を促します。



人との関わり

鈴入りボール、トランポリン、平均台、バランス訓練器などを使い、いろいろな動きを経験します。運動の楽しさを味わいながら体の使い方を練習します。



いろいろな運動



個別の課題

両手の協応を高める課題、文字や点字のレディネス課題など、個に応じて内容や量を工夫し、繰り返し取り組むことで、学習の素地づくりをします。



歩行の練習

壁や手すりを確認しながら一人でトイレや教室に行けるよう、言葉掛けを受けながら歩きます。また点字ブロックを頼りに歩いたり、近くの公園に出かけたりします。

# 校外教育相談 ～小学校入学から高等学校等卒業後まで～



ここで紹介した以外にも、不定期の電話や来校相談も実施しています。視覚障害のある方々にとって暮らしやすい社会作りのためにも、本校から発信し続け、切れ目のない支援を心掛けていきます。

【定期来校相談】月1回程度

見え方に関する相談や検査を行ったり、ルーペや単眼鏡といった弱視レンズ、拡大読書器など視覚支援機器の使い方、点字の読み書きや白杖歩行などの練習をしたりしています。校外で、駅の利用の練習や歩行練習をすることもあります。この相談を機に、羞明が分かり、遮光眼鏡やルーペの選定のお手伝いや校医を紹介するなどして、処方や支援具の購入につながり、本校で操作を学んでいるケースなども多いです。不定期の相談が定期来校相談に移行するケースもあります。

【巡回相談】随時

各地区教育委員会と連携の下、学校を訪問し教職員向けの研修講師を務めたり、本人や御家族、担任と相談をしたりします。令和5年度からタブレット版MNREAD-Jの活用をスタートし、読み速度や文字サイズ等の検査結果を分かりやすくお伝えできるようになりました。対象児童生徒の見えにくさや困り感に寄り添い、丁寧に相談に取り組みます。

【学校見学会】(11月)

学校概要説明や授業体験、施設参観や授業参観、教育相談などを行っています。今年度初めて、複数業者の御協力により「福祉機器展示会」を同時開催いたしました。本校内外の参加者に最新の視覚支援機器を操作したり、体験したりしていただき、関係機関がつながり、情報提供の機会となりました。



【学校見学会：全体会】



【福祉機器展示会】



【読み速度等の検査】



【単眼鏡：保護者も体験】

## 啓発・渉外

盲学校の教育について広く知っていただくことを目的に、以下のような取組を行っています。

【学校便りによる啓発】

県内の教育委員会、保健センター、眼科、療育施設、関係機関等へ送付しています。

【パンフレットによる啓発】

県内の公立私立高等学校に本校の教育（職業課程）についてのパンフレットを送付しています。

【関係機関や大学への訪問による啓発】

県内各地を訪問し、本校の教育についての概要を説明しています。

【研修会参加による啓発】

県内の民生委員や児童委員、市町村福祉担当者等の研修会に参加し、本校の幅広い支援について説明すると共に、必要な方々への情報提供をお願いしています。

【公開講座】(7月)

県内の教職員、施設職員等を対象に、視覚障害のある児童生徒の見え方・配慮点、視覚支援機器等についての説明、アイマスクを着けての歩行体験、点字体験等を実施しています。



【理療科体験入学】(12月)

自立を目指し、理療科入学を考えている方を対象に、「はり」や「あん摩」の施術体験、授業見学などを実施しています。

